

平成 17 年 7 月 12 日

各 位

日本ブレーキ工業株式会社
代表者 取締役社長 奥田純一

問合せ先 総務グループ 関川一浩
(0426-27-8311 代表)

石綿（アスベスト）の使用状況および健康障害の状況について

現在、大きな社会問題となっております石綿に関しまして、当社における使用状況および健康障害の発生状況等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 石綿製品の製造について

当社は、1958 年より主に自動車用、自動二輪車用および産業機械用の摩擦材としてブレーキライニング、ディスクブレーキパッド等を製造してまいりました。それら製品の原材料のひとつとして白石綿（クリソタイル）を使用しておりましたが、環境衛生問題への取組のなかで、石綿を使用しない製品（ノンアスベスト製品）を開発し、順次切替て参りました。そして 2003 年 3 月に石綿を使用した全ての製品の製造を取り止めております。

石綿製品の製造状況

事業所・製造会社	操業開始年	製造された石綿製品	石綿製品の製造期間
八王子本社 (旧八王子工場) 〔東京都八王子市〕	1958	ブレーキライニング ディスクブレーキパッド 産業機械用摩擦材	1958~1984 1966~2003/3 1958~2003/3
千葉事業所 〔千葉県山武郡成東町〕	1965	ブレーキライニング	1965~2003/3
浪江日本ブレーキ(株) 〔福島県双葉郡浪江町〕	1992	産業機械用摩擦材 (研磨工程のみ)	1996/5~1999/7
広島日本ブレーキ工業(株) 〔広島県呉市〕	1989	ブレーキライニング (研磨工程のみ)	1994/1~2003/3

〔 〕内は所在地

2. 石綿製品による健康障害について

現在のところ、従業員の健康障害の状況は次の通りですが、今後とも継続して調査を行ってまいります。

事業所・製造会社	現在療養中の方	死亡された方
八王子本社	0	0
千葉事業所	0	0
浪江日本ブレーキ(株)	0	0
広島日本ブレーキ工業(株)	0	0

3. 工場周辺への影響等について

各事業所・製造会社では、敷地境界線石綿粉塵濃度の測定を実施しており、測定値は1989年に制定されました大気汚染防止法の基準を下回っております。

現在まで、各事業所周辺の皆様からのお問合せ、ご苦情等はありません。

当社では、今後とも石綿問題に関しまして、行政・関連団体との情報交換を行いながら、的確な対応策を推進していく所存でございます。

以上